

=====  
あきらめない！！「**運転資金調達**」はあらゆる工夫と努力で実現します

2回シリーズの 第1回

著者：(株) I & C・HosBizセンター  
平本 靖夫

=====  
はやぶさ 第163号を発信します。

【タイトル】あきらめない！！「**運転資金調達**」はあらゆる工夫と努力で実現します

著者：(株) I & C・Hosbiz センター  
Captain 平本 靖夫

第1回 「**メインバンクや信用保証協会**」は、何故ニューマネーを出さないのか？

1、以下のビジネスローン概要は、東京のある信用金庫（以下：A 信金と云う）の融資の条件です。

1) 利用いただける方

- ・都内で事業を営んでいる
- ・A 金庫の会員資格を有している
- ・決算書（個人事業主は青色申告決算書）の提出が可能
- ・直近の決算において、債務超過ではなく当期純利益が計上されている

2) 使いみち（用途）

- ・運転資金（外注費・材料費・人件費・経費等の支払い）

3) 利息 1%（固定金利・ただし初回のみ）

4) 返済方法 元金均等返済 または期日一括返済

5) 融資期間 1年以内（6ヵ月の据置期間を含む）

6) 担保 原則不要

7) 保証料 なし

8) 保証人 法人・代表者 個人事業者は事業後継者（原則）

9) 融資金額 3000万円以内

## 2、ニューマネーが出ない理由は？

### 1) メインバンクが、ニューマネーを出さないのにはそれなりの理由があるのです。

それは、与信限度（返済能力・担保力・社長の経営力）一杯貸し付けていると観じているのです。何故資金は回転して蓄積されないのか？

在庫過多・売掛金過多・利益率が悪い・設備が収益に貢献してない（設備が遊んでいる）等々・・・企業の血液（キャッシュ・フロー）の循環がうまくマネジメントされてないのです。つまり、貸した資金の回収に不安を感じているからです。

信用保証協会も、与信を超えての保証は出来ませんし、メインバンクからの申請がない限り支援は出来ないのです。

### 2) 次の点が、経営課題なので解説いたします。

★直近の決算において、債務超過ではなく当期純利益が計上されている

\*債務超過とは、過去の赤字が積み積もって、資本金を食いつぶしてしまった状況です。つまり、過去の経営がうまくいかないで、資金に詰まってしまっている状況なのです。債務超過の場合は、再建（再生）計画を立てる必要があります。「持続」のための活路を開くために、またニューマネーを出してもらうために策定しなければなりません。

\*当期純利益が黒字（単黒と云う）であることは、企業にとって是不可欠な条件です。単黒でなければ、絶対に「**持続**」は出来ませんので、まずはこの点を対策しなければなりません。債務超過のリスクをかかえる企業では、ダウンサイジング（縮小バランス＝持続策）を、勇気を持って、取り組むことになります。この計画が、再建計画となります。

## 3、A 信金は何のリスクも負わない・育成をしてくれるのでしょうか・・・

### 1) 1%の利息は、初回のみ。次からは利息は上がる？

つまり、新規取引先を開拓するフロント商材の可能性があるので？  
未来の「**発展・持続**」に向けて、支援してくれるのでしょうか？

2) これは、A 信金だけの問題ではなく、中小企業向け金融政策全体の問題であるのですが、一度つまずいた（大赤字を作った・転んだ・失敗した）企業には、そこから抜けだすニューマネーは出しません。大手企業・金融機関等へは、国庫（税金）をつぎ込むが、小規模・中小企業への救済策は今の日本にはないのです。

3) 小規模・中小企業で、3000万円を一年以内に処理できるのは、決済資金のほかにはありませんね。

こうした点で、貸金業的な感覚を看過できない点であります。

助かる中小企業もある事でしょうから、実績の報告を期待しています。



- ・参加費 1,000 円（マイバッグ-手引書、教材付）

詳細は、以下の URL を参照ください。

<http://www.hosbiz.net/pdf/20151207.pdf>

=====

◆経営相談は

[http://hosbiz.net/pdf/20150527\\_02.pdf](http://hosbiz.net/pdf/20150527_02.pdf)

を開き、「問診シート」をプリントして、必要事項をご記入のうえ、FAX ください。

FAX : 03-5832-9404

=====

一般社団法人 経営特訓士協会（略称：KTGA）

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：[happy@keiei-tokkunshi.jp](mailto:happy@keiei-tokkunshi.jp)

発行責任者： 理事長 平本 靖夫、 編集： 理事 石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

[http://asu12.com/d.php?t=test&m=stone\\_river@ho](http://asu12.com/d.php?t=test&m=stone_river@ho)